

平成 30 年第 4 回上越地域消防事務組合議会定例会概要

■開催日時

平成 30 年 10 月 3 日(水) 午前 10 時から午前 11 時まで

■開催場所

上越市役所 第 1 委員会室

《平成 30 年第 4 回上越地域消防事務組合議会定例会》

■議案第 10 号 平成 29 年度上越地域消防事務組合一般会計歳入歳出決算認定について

決算額は、歳入総額 29 億 5,127 万 4 千円（前年度比 5.5%増）に対し、歳出総額 29 億 3,599 万 8 千円（前年度比 7.3%増）で、歳入歳出差引額及び実質収支とも 1,527 万 6 千円となりました。

主な事業は、新庁舎整備事業の実施設計業務委託及び化学消防ポンプ自動車の更新整備などで、重点事項である「職員の能力開発等の推進」、「防災基盤の整備」、「智勇兼備の消防防災プロの育成」、「専門性の高い部隊の充実・強化」、「火災予防対策の推進」の施策を着実に進めた旨を説明し、「認定」されました。

【ストレスチェックについて】

問 ストレスチェックの結果等を教えてほしい。

答 結果と状況を詳細に答弁しました。

【エネルギー・産業基盤災害即応部隊車両の配備について】

問 エネルギー・産業基盤災害即応部隊車両が総務省消防庁から無償配備されることとなったが、どのような部隊であるのか教えてほしい。

答 総務省消防庁では、石油コンビナート及び化学プラント災害に対する即応部隊として、エネルギー・産業基盤災害即応部隊、通称ドラゴンハイパー・コマンドユニットを平成 30 年度末までに全国 12 の消防本部に新設配備することとし、うち 1 部隊を上越消防が担うこととなり、当該部隊の中核車両である大型放水砲搭載ホース延長車と大容量送水ポンプ車の 2 台が無償配備されることとなったものです。

この部隊は、管内はもとより全国各地の災害に出動する緊急消防援助隊として新たに発足した部隊であり、部隊創設に向けて準備員を任命したところです。専門的知識と技術を兼ね備えた強靱な部隊を創り上げ、その使命を果たしていく旨を答弁しました。

【資機材等の更新について】

問 救急資機材等の更新時期の方針を教えてください。

答 耐用年数を超過したものを更新することを基本としている旨を答弁しました。

■議案第 11 号 平成 30 年度分賦金額の変更について

消防車両整備事業について、財源を組み替え、組合債の増額分に対して分賦金を減額して、総額 39 億 1,585 万 6 千円とする旨を説明し、「可決」されました。

質問はありませんでした。

■議案第 12 号 平成 30 年度上越地域消防事務組合一般会計補正予算（第 1 号）

歳入歳出予算総額に 1,110 万 7 千円を追加し、予算規模を 43 億 532 万 4 千円とするもので、主な内容は、高機能消防指令センター整備事業について、新たに債務負担行為を設定するとともに、消防車両整備事業に係る地方債を補正するほか、前年度決算剰余金など確定した収入額を補正して、予備費で財源調整する旨を説明し、「可決」されました。

【高機能消防指令センターについて】

問 高機能消防指令センター整備事業において、現行システムとの違いと防災行政無線連携について教えてください。

答 現在運用中の通信指令システムも高機能システムであり、耐用年数を迎えた機器更新と考えていただきたい。また、防災行政無線の連携とは、妙高市の火災発生時における音声の提供方法等についてのことであり、現在検討している旨を答弁しました。

■出席者

○議員

1 番：野口和広、2 番：市川達孝、3 番：武藤正信議長、5 番：丸山章、6 番：山田忠晴
7 番：本山正人、8 番：小林和孝、9 番：渡邊隆、10 番：植木茂副議長

○構成市

村山管理者、入村副管理者、秋山会計管理者

○消防本部

消防長、次長、総務課長、消防防災課長、予防課長ほか 11 人

《消防本部からの連絡事項》

【新庁舎の名称について】

新庁舎の建設に当たり、(仮称) 消防本部・上越北消防署という表現を用いてきましたが、このほど新庁舎の新たな名称が固まり、上越地域消防事務組合消防本部を「上越地域消防局」とし、上越北消防署を「上越消防署」とします。

部から局に組織の格上げを図るとともに、上越地域の基幹的機能を有する消防署であることを端的に表す名称としました。

新庁舎建設という時代の転機に立ち、新たな名称を冠することで新庁舎とともに新たな歴史を紡ぐ自覚と気概が芽生え、市民には有形無形のメリットを印象づける効果もあると考えております。

名称変更に伴う条例改正等の事務手続きは、今後適切に進めてまいります。